

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和5年度分）

施設	名 称	栃木市そのべ児童館
	所 在 地	栃木市菌部町2丁目14番9号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名 称	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
	所 在 地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	利用案内掲示数			6か所		6か所	
	アンケート数			100件		100件	
	意見反映数			2件		2件	
	アンケート満足率			80%		97%	
	業務改善数			3件		4件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	①施設の設置目的に基いた管理運営方針を明文化し、事務室内に掲示しました。管理運営方針は職員会議等で確認し職員の理解を深めました。また、職員に事業計画書を配布した上で周知し、全員が運営方針を理解して業務に携わりました。 ②利用者への利便性に配慮し、出入口等に関館時間や休館日等の案内を掲示しました。また、低年齢の子どもにも理解できるよう配慮した内容で、掲示板に利用上の約束事などを掲示し、更に貸し出し用のおもちゃについても分かりやすく写真付きで利用方法等を掲示するなど、利用者の立場に立った使いやすい施設づくりを心がけ実践してきました。階段や踊り場には、楽しい雰囲気児童館に誘導できるよう、飾り付けを行ないました。また、高年齢の利用者が少ないという短所を解消するべく、その世代に向けた事業を行うなど、幅広い年齢を対象とした事業を総合的に計画し実施しました。 ③アンケートの結果から、施設利用者及びイベント参加者からは、「満足」「やや満足」の割合が97%と、ともに高い評価を受けており、児童館運営に対して大変ご満足をいただきました。また、アンケートでいただいたご意見や日頃から利用者と多くのコミュニケーションを取る上でいただいたご意見について、内容を精査・検討しスピード感を持って改善等の対応をしました。 ④アンケート以外にも館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募るとともに、ご意見・苦情をいただいた際には、迅速に対応する姿勢をとりました。また、4件の改善（複合施設を活用した長寿園での飲食、きねんびPhoto撮影毎日可能、世代間交流、6コミまつり協力）を行いました。						

施設所管課コメント	・ 掲示板等を活用し、各利用者に配慮した施設づくりに取り組んでいると評価できる。施設内の飾り付け等職員の創意工夫によるものが伺えるため、引き続きそのような取組をお願いしたい。 ・ 日頃から利用者と密にコミュニケーションをとり施設運営に反映させている結果が、高いアンケート満足度に表れていると考えられる。 ・ 高学年の利用者を増加させるという課題を持って取り組んでいることから、今後も幅広い年代を対象に据えた新規事業などを企画し目標達成に向けて運営に当たっていただきたい。
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	利用者数			7,400人		7,384人
	記事の掲載回数			25回		26回
	児童館だより発行部数			2,450部		2,550部
	新規事業数（既存事業名だが内容は新規のものを含む）			10回		14回
	協働事業数			2回		3回
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①令和5年度利用者計画を7,400人と設定して施設の運営を行ないましたが、利用者数はあと少しの所で目標を達成することができませんでした。昨年度より1,490人増となりました。職員は、利用者に安心して利用いただける環境づくりや、アンケートで要望のあった世代間交流事業の新規事業を企画し、皆さんに喜んでいただくことができましたので、環境に合わせた施設運営はできたものと思います。 ②市内全世帯に配布される広報とちぎ等に行事案内等を掲載し、本会ホームページにも行事案内を掲載するなど、広い周知を心がけました。更に、毎月児童館だよりの発行部数を増やし（年間延べ2,550部）、窓口や公共施設等で配布を行いました。 ③新規利用者の増加に向けた事業として、少人数制で一人一人に手厚い対応、笑いヨガや色で遊ぶなど趣向を凝らした新規事業を14回実施しました。 ④協働事業について、複合施設の強みである、老人福祉センター長寿園との合同で『がんばれ運動会』事業や第六地区コミュニティ推進協議会講座部のフォークダンスクラブと『楽しく踊ろう』事業など、高齢者とふれあい世代間交流を行いました。また、地区コミュニティ推進協議会主催の第六コミュニティまつりへの協力につきましては、『読み聞かせのコーナー』の協力を行いました。					
施設所管課コメント	・利用者数は目標値に届かなかったが、前年度比で25%程も増加している。これは、新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和されただけでなく、職員の取り組みの成果として地域児童から児童館が求められている実情が伺える。 ・児童館だよりの発行部数を増やしたり、趣向を凝らした新規事業を多く行うことで新規利用者の取込みを図っていると評価できる。 ・世代間交流を目的として長寿園（老人施設）との協働事業を行うなど、複合施設の特色を生かして利用者の楽しみを生み出している。また、コミュニティまつりへの協力など、地域事業とも積極的に関わっており、今後も継続していただきたい。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	事務経費削減額			7,103円	13,553円	
	事務経費削減率			3.00%	5.70%	
	施設修繕数			2回	3回	
	廃棄物の減量（牛乳パック、ペットボトル、新聞紙の使用回数）			10回	15回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続きを適正に行いました。 ②職員は常に経費削減を心がけ、節電・空調管理に努めました。トイレ等の簡易な修繕は長寿園職員と協力しながら、職員が実施しました。 ③備品管理台帳の見直しを定期的に行ないました。また、施設点検報告書を作成し、四半期ごとに結果を市に報告しました。 ④事業に使用する工作物等の材料に、そのままではゴミとして廃棄する牛乳パック、ペットボトル、新聞紙等を積極的に使用するなどエコ対策に取り組みました。そのような中で、ぺたぺたひろば（こどもが手形・足形を取る）で使用するエプロンを新聞紙で作成し、資源のリサイクルに努めました。また、長寿園職員からいただいた古新聞や包装紙で作成したエコバックを事業の中に取り入れ、イベント参加後のお土産用バックとして、可愛いデザインのエコバックを受け取った皆さんからは大好評でした。					
施設所管課コメント	・施設の修繕についても、簡易なものは職員が実施している点も経費削減に寄与されていると思われ、実際に目標値を上回る削減額を実現している。 ・事業の中で工夫し資源のリサイクルに取り組んでいることは評価できると思われる。その中でも利用者が楽しめるよう考えられており、今後も継続して環境への配慮とサービスの質の両立を目指してもらいたい。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			5人	5人	
	報告書期限内提出			100%	100%	
	研修会参加者数			延べ4人	延べ6人	
	館長会議参加回数			4回	6回	
	常勤職員1週間の平均勤務時間数			40時間	38.75時間	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①総括責任者に、防火管理者及び社会福祉主事等を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等の資格を持つ「児童の遊びを指導する者」を配置しました。職員は、総括責任者・嘱託職員が常勤、臨時職員2名が非常勤勤務、臨時職員1名（無資格）常勤となりました。常勤の臨時職員（無資格）については、児童館の運営上支障がないようまた、他職員の過重負担にならない勤務体制に努めました。 ②オンラインによる虐待防止等の受講や救急法等講習会では、長寿園にて合同講習会をすることにより職員間の交流も含め、共通認識をすることにより職員の資質の向上に努めました。また、朝礼において、緊急時の対応方法を研修するなど、緊急時における職員体制の強化に努めるとともに、不測の事態に備えました。また、館長会議へも出席し、情報の共有を常に図り、公平公正に接遇するよう職員一同努めました。 ③福利厚生について、全職員が健康診断を適正に受診しました。 ④健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。					
施設所管課コメント	・特に有資格者の人員確保はどの施設でも課題となっていると理解できるが、その中で充実した児童館運営のため、勤務体制の見直しや工夫を行っていたものと思慮できる。 ・内外の会議研修に積極的に参加し、職員の資質向上を図っている。長寿園との合同講習会など、施設全体として、不測の事態に備えた実践的な対応を行っているとは評価できる。 ・今後も利用者数の増加を目指していく中で、施設の適正管理を維持しつつ利用者の満足度を高めるよう創意工夫を発揮していただきたい。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	定期安全点検実施回数			12回	12回	
	非常通報装置の保守点検			1回	1回	
	事故発生件数			0件	0件	
	消防訓練等実施回数			2件	2件	
	児童安全共済制度の加入			100%	100%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①毎日の館内、月1回の施設全体の点検を行い安全管理を徹底しました。また、来館することもたちにも理解しやすいように、イラスト入りで約束事を掲示しました。 ②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図りました。消防設備・防火対象物においては、とちぎ西部生きがいセンターとして年2回の点検を実施し、更に児童館内にある非常通報装置の点検を実施しました。また、施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えました。 ③毎月1日に避難経路・消防設備の確認等を行いました。本施設は複合施設であるため、老人福祉センター長寿園、第六地区コミュニティセンターと合同で消防避難訓練を実施し、職員等が万が一の際の避難経路や避難の手順について確認することができました。なお、消防訓練時、新型コロナウイルス感染症の影響で施設内に利用者等が少なかったのですが、できるだけご参加いただけるようお願いし、水消火訓練にもご協力いただきました。 ④個人情報は、本会個人情報保護規程に基づいた管理方法で適正に処理しました。					
施設所管課コメント	・施設安全対策及び危機管理については、適正に行われているものと理解します。前年度から利用者数が大幅に増加した中でも事故発生件数が0であったことは、日常から安全管理対策を徹底していた成果と高く評価できます。 ・突然の災害に対応するために、緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画の作成、利用者も参加した訓練の実施等により適切な体制が整えられている。今後も水害への備えなど地域の実情に沿った対策を行ってほしい。 ・個人情報の取扱いについては引き続き個人情報保護規定に基づき適正に管理していただきたい。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	16	
評価点合計	100	79	83	
総合評価		B (良)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
資産総額	1,906,373,129	1,983,652,461	1,965,766,261
売上高	873,947,307	825,285,169	807,520,501
経常利益	△ 43,364,759	△ 82,602,966	△ 78,435,421
当期利益	△ 44,559,175	39,099,727	△ 78,285,914
経常収支比率	95.3%	90.9%	91.2%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期
経常費用	919,267,844	910,352,088	888,350,143
経常収益	875,903,085	827,749,122	809,914,722
経常収支比率	95.28%	90.93%	91.17%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和4年度における本会全体の財務状況は、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益が減少しましたが、人件費や事業費を抑えることができたため、前年度より赤字幅を少なくすることができました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、引き続きコスト削減と収入源の確保に取り組み安定した経営基盤づくりを目指します。